

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和7年
4月号

令和6年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
確定値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和6年1月1日から12月31日に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）が確定しました。**死亡者数は2人、休業4日以上**の負傷者数は**267人**となっています。業種別では、**小売業（50人）**が最も多く、次いで**製造業（42人）、社会福祉施設（40人）**と続きます。

事故の型別では、「**転倒（91人）**」が最も多く、次いで「**墜落・転落（43人）**」、「**無理な動作・動作の反動（40人）**」と続きます。

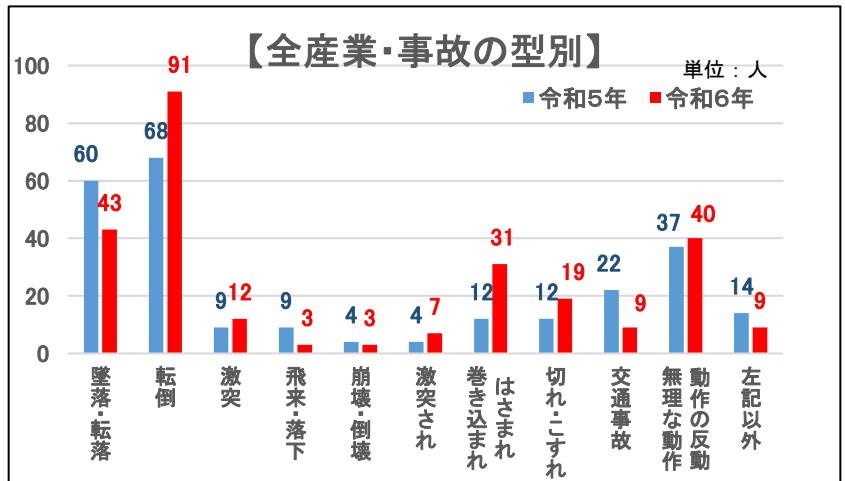
労働者の行動に起因する行動災害（転倒、腰痛等）が、全体の約半数を占めています。

FC. ISE-SHIMA と連携し、選手実演の腰痛・転倒予防体操を公開しておりますので、是非ご活用ください。



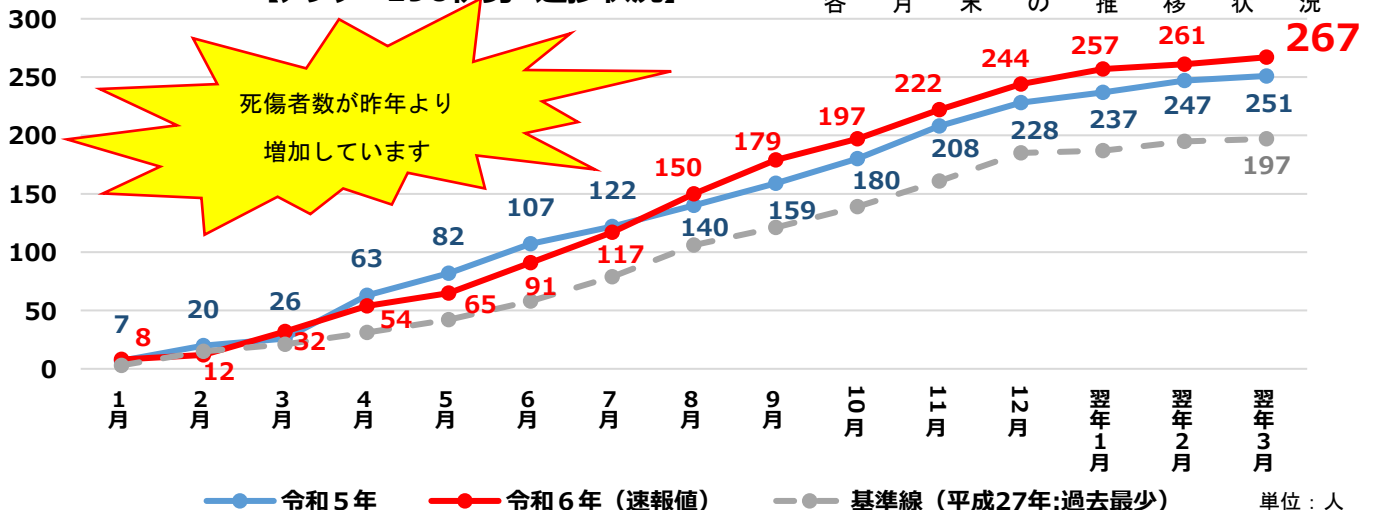
【令和6年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

	令和5年		令和6年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種	1	251	2	267	+16	+6.4%
製造業		39		42	+3	+7.7%
建設業	1	36	1	27	-9	-25.0%
道路貨物運送業		9		15	+6	+66.7%
林業		7		6	-1	-14.3%
小売業		44		50	+6	+13.6%
社会福祉施設		26		40	+14	+53.8%
旅館業		25		19	-6	-24.0%



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



令和7年 死亡災害ゼロ

アンダー190 伊勢 推進運動

伊勢労働基準監督署では、第14次労働災害防止計画（期間：令和5年～令和9年）により、死亡者数0人、死傷者数190人未満を目指して計画を推進していますが、令和6年は、**死亡者数2人、死傷者数267人（確定値）**となりました。

労働災害の減少を目指し、特に、労働災害の発生が多い業種や労働災害の種類などを踏まえて重点対象を定め、**令和7年「死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢」推進運動**を展開することになりました。管内事業場の皆様におかれましては、引き続き、自事業場での労働災害撲滅を目指し、労働災害防止対策に取り組みましょう。

【重点業種】

- 道路貨物運送業
- 第三次産業
（特に小売業、社会福祉施設）

【重点対象災害】

- 機械災害
- 行動災害（転倒災害・腰痛災害等）
- 高齢労働者による災害

主な取り組み

- ◆ 安全衛生情報トピックスの発信（毎月更新）
- ◆ 安全衛生管理計画による自主的安全衛生活動の促進
- ◆ 道路貨物運送業を対象とした安全研修会の開催
- ◆ 第三次産業を対象とした安全研修会の開催
- ◆ 機械災害防止研修会の開催
- ◆ 行動災害防止研修会の開催
- ◆ 高齢労働者の体力・健康チェックの促進（全国労働衛生週間）
- ◆ FC.ISE-SHIMAとの連携による行動災害防止活動

令和7年6月1日から「**職場における熱中症対策**」が強化されます

令和6年は、伊勢署管内だけでも職場で3人の熱中症が発生したほか、全国における熱中症による被災労働者は1195人（うち死亡30人）にのぼります。また、令和7年6月1日からは、熱中症に係る事業者の**義務が強化**されます。近年、熱中症が増加していることを踏まえ、**STOP! 熱中症クールワークキャンペーン**の実施事項と併せて熱中症対策を徹底してください。

基本的な考え方

※「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業時

現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、「**体制整備**」、「**手順作成**」、「**関係者への周知**」が事業者には義務付けられます。

見つける

判断する

対処する

STOP! 熱中症クールワークキャンペーン特設サイト（厚労省HP）
→→→



令和7年「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」リーフレット（PDF）
→→→



「職場における熱中症対策の強化について」パンフレット（PDF）
→→→



お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課

TEL 0596-28-2164

伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索